令和7年5月 28 日

関係者 各位

焼津市行政経営部DX推進課

質疑回答書

下記の件について、質疑がありましたので回答します。

記

1 件 名 令和7年度焼津市生成 AI サービス提供業務公募型プロポーザルについて

2 質疑回答

No	質疑等	回答
1	(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.7 「予定トークン数の利用の場合に」の意味をお教えてください。 予定トークン数未満の場合は月額料金から割引が必要、或いは契約期間中、トークン数が同じ月は同じ料金となるようにしてほしい(価格変動は認めない)ということでしょうか？	予定トークン数に達するまで、月額料金が固定である場合は、対応可としてください。月額料金からの割引は想定していませんが、提案いただくことは可能です。
2	(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.10 「利用トークンの増加」は、利用トークン数に不足を感じた場合、当月に限りトークン数を追加するという認識で良いのでしょうか？	ご認識のとおりです。予定トークン数に達した場合であっても、月ごとにトークンの追加(有償)に対応可能なサービスであるかを記載してください。
3	(別紙1)要求機能一覧 該当項目:No.11 内容:Azure OpenAI(API)の GPT-3.5 turbo 提供は 2025 年 7 月 16 日で提供終了されますが、2025 年 7 月 1 日から短期間でもご提供は必要でしょうか。	サービス利用開始直後は、職員に GPT-3.5 を利用してもらうことを想定しています。提供は必須ではありません。
4	(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.12 一人(1アカウント)あたりの数値である認識で良いのでしょうか？	市全体(約 900 アカウント)の数値です。
5	(別紙1)要求機能一覧 該当項目:No.23 内容:「対話履歴において、検索機能を有すること」とは、対話履歴からブラウザ上での検索ができれば満たされる認識でよろしいか。	ユーザーが対話履歴の中から過去の対話等をキーワードで検索ができる場合には、対応可としてください。

6	<p>(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.25 「一度使用された単語や表現の再利用を抑制し、新しいピックやアイデアの優先的な選択を可能とする調整が容易にできること」の、具体例を明示いただけますか？</p>	<p>アイデア出しなどの対話の中で、同じ単語や表現を抑制できるように OpenAI の API を利用し、Temperature などのパラメータを調整することを想定しています。Temperature などのパラメータをサービス内で職員が調整できる場合には、対応可としてください。</p>
7	<p>(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.36 「一般的な知識からの生成」とは、根拠がない憶測回答はしないようにしてほしいという認識で良いのでしょうか？ハルシネーションを抑制するのが目的でしょうか？</p>	<p>RAG 環境では、できる限り登録したデータから回答を生成してほしいという内容です。LLM の判断で学習データから回答をさせないようにすることを求めています。結果としてハルシネーションの抑制につながる可能性はあります。</p>
8	<p>(別紙1)要求機能一覧 該当項目:No.36 生成 AI の性質上、100%一般的な知識(生成 AI モデルの学習内容)から回答をさせないことはできないという認識です。要求機能について、高い確率で一般的な知識から回答させない、という認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、可能な限り一般的な知識から回答されないことを求めるものです。</p>
9	<p>(別紙1)要求機能一覧 該当項目:No.46 内容:「使用可能な生成 AI」とは、生成 AI のモデル(LLM)の意味でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>
10	<p>(別紙1)要求機能一覧 該当項目:NO.46、NO.47 該当項目の「機能の内容」に記載された文章においては、「生成 AI=LLM」という理解で良いのでしょうか？</p>	<p>ご認識のとおりです。</p>

【担当】 DX推進担当(担当:鈴木) TEL.054-626-9414 FAX.054-626-2183